



緑区支え合いのまち推進計画

第5期緑区地域福祉計画 令和4年(2022)～8(2026)年度



～ 田園と調和する広やかで快適なまち・緑区 ～

1 区の現状

(1) 少子・高齢化に関するデータ（5年毎の区内人口も推移）

※各表のH22は3月末、H27・R2は9月末時点

おゆみ野エリア 単位：人				
年齢	H22	H27	R2	
0～14	10,219 (23%)	9,395 (19%)	7,848 (16%)	
15～64	31,193 (69%)	33,447 (69%)	34,031 (70%)	
65～74	2,323 (5%)	3,335 (7%)	3,945 (8%)	
75～	1,395 (3%)	2,149 (4%)	3,050 (6%)	
計	45,130	48,326	48,874	

※おゆみ野有吉、おゆみ野、おゆみ野中央、おゆみ野南

緑区全体 単位：人				
年齢	H22	H27	R2	
0～14	20,493 (17%)	19,634 (15%)	18,311 (14%)	
15～64	81,202 (67%)	81,772 (64%)	82,046 (63%)	
65～74	11,803 (10%)	14,643 (12%)	15,156 (12%)	
75～	7,578 (6%)	10,788 (9%)	14,432 (11%)	
計	121,076	126,837	129,945	

誉田エリア 単位：人				
年齢	H22	H27	R2	
0～14	3,297 (12%)	3,663 (13%)	4,505 (14%)	
15～64	17,121 (64%)	16,945 (60%)	18,449 (59%)	
65～74	3,797 (14%)	4,124 (15%)	3,763 (12%)	
75～	2,540 (9%)	3,514 (12%)	4,547 (15%)	
計	26,755	28,246	31,264	

※誉田町、鎌取町、辺田町、平山町、大膳野町、高田町、平川町、東山科町



椎名エリア 単位：人				
年齢	H22	H27	R2	
0～14	610 (14%)	707 (15%)	721 (14%)	
15～64	2,970 (66%)	3,001 (62%)	3,102 (62%)	
65～74	535 (12%)	622 (13%)	588 (12%)	
75～	369 (8%)	494 (10%)	610 (12%)	
計	4,484	4,824	5,021	

※大金沢町、椎名崎町、小金沢町、茂呂町、中西町、古市場町、落井町、富岡町、刈田子町

土気エリア 単位：人				
年齢	H22	H27	R2	
0～14	6,367 (14%)	5,869 (13%)	5,237 (12%)	
15～64	29,918 (67%)	28,379 (62%)	26,464 (59%)	
65～74	5,148 (12%)	6,562 (14%)	6,860 (15%)	
75～	3,274 (7%)	4,631 (10%)	6,225 (14%)	
計	44,707	45,441	44,786	

※土気町、小食土町、小山町、大椎町、板倉町、大木戸町、大高町、大野台、上大和田町、下大和田町、高津戸町、越智町、あすみが丘、あすみが丘東

緑区全体

※R2を基準にH22からの推移を記載しています。(以下同じ)

- 【特 色】大規模開発が行われた新しい地域と歴史と緑の潤いに育まれた地域が共存する若々しい区。
- 【総人口】約130,000人で、総人口は約9,000人増加。
- 【少子化】15歳未満は約18,000人(約14%)で、約2,000人減少。
- 【高齢化】65歳以上は約30,000人(約23%)で、約10,000人増加。75歳以上の増加が顕著。

誉田エリア

- 【特 色】産業用地の開発に伴い住宅地の開発が進行。農村地域が広く田畑に囲まれた集落が点在。
- 【総人口】約30,000人で、区内で3番目の人口。総人口は約4,500人増加。
- 【少子化】15歳未満は約4,500人(約14%)で、約1,200人増加。
- 【高齢化】65歳以上は約8,000人(約27%)で、約1,600人増加しており、主に75歳以上が増加。
※誉田エリアは、平山地区が分割し、R4から平山地区部会が設立予定。

椎名エリア

- 【特 色】自然豊かな農村地域で、地域には区画された田園が広がり、集合住宅地はあまりない。
- 【総人口】約5,000人で、区内で最も人口が少ない。総人口は約500人増加。
- 【少子化】15歳未満は約700人(約14%)で、約100人増加。
- 【高齢化】65歳以上は約1,200人(約24%)で、約300人増加しており、主に75歳以上が増加。

土気エリア

- 【特 色】緑豊かな地域、あすみが丘・地域開発の住宅地、工業団地や農村地域が広がる。都市公園が整備。
- 【総人口】約45,000人で、区内で2番目の人口。総人口はほとんど変動なし。
- 【少子化】15歳未満は約5,200人(約12%)で、約1,100人減少。
- 【高齢化】65歳以上は約13,000人(約29%)で、約4,500人増加。75歳以上の増加が顕著。

おゆみ野エリア

- 【特 色】鎌取駅を中心に商業地区と戸建て中心とした閑静な住宅地域。緑区行政の中心地。
- 【総人口】約49,000人で、区内で最も人口が多い。総人口は約3,700人増加。
- 【少子化】15歳未満は約7,800人(約16%)で、約2,400人減少。
- 【高齢化】65歳以上は約7,000人(約14%)で、約3,200人増加。他と比べると高齢化割合は低い。

(2) 地域団体等の状況

地域には、地区部会、町内自治会、民生委員・児童委員、避難所運営委員会、地域運営委員会、老人クラブ、赤十字奉仕団、学校PTA等の様々な団体があります。地域福祉活動を推進するには、これらの団体が、各地域の状況に応じ、連携、協力することが重要です。また、あんしんケアセンターでは地域の高齢者に関する様々な相談に応じており、地域課題を解決するには、あんしんケアセンターを中心に各団体の連携が求められます。

※R2年度末時点

主な地域団体等	緑区全体	誉田エリア	椎名エリア	土気エリア	おゆみ野エリア
地区部会数 (名称)	4	1 (誉田地区部会) ※1	1 (椎名地区部会)	1 (土気地区部会)	1 (おゆみ野地区部会)
町内自治会数 (連絡協議会地区)	161	34 (第12・50地区)	17 (第14地区)	46 (第23地区)	64 (第44地区)
民生委員・児童委員数 (協議会地区)	160	46 (501/506/507地区)	12 (503地区)	55 (504/505/509/510地区)	47 (502/508/511地区)
避難所運営委員会数 (指定避難所数)	34	6 (6)	3 (3)	15 (15)	10 (10)
地域運営委員会数	2	1	0	0	1
あんしんケアセンター (担当センター)	3	1 (誉田/鎌取※2)	1 (鎌取※2)	1 (土気)	1 (鎌取※2)

※1 誉田エリアは、平山地区が分割し、R4から平山地区部会が設立予定

※2 あんしんケアセンター鎌取は、誉田エリアの一部・椎名エリア・おゆみ野エリアを担当

(3) 地区部会活動状況

地区部会では、高齢者、障害者、子育て世帯等、住民の方が健康で、日々充実した生活を送り、生きがいと、楽しさと、喜びを持てるような活動を推進しています。各地区の人口、地域性、住民の意識等によって活動回数に差が生じています。なお、R2は、新型コロナウイルスの影響で地域活動が制限され、活動回数が大きく減少しています。また、R1は、台風15号・19号、大雨の影響で土砂崩れ等の甚大な被害が出た地域もあり、活動回数が一部減少しています。

※単位：回（括弧は団体数）

主な活動 活動内容	緑区全体			誉田			椎名			土気			おゆみ野		
	H30	R1	R2	H30	R1	R2	H30	R1	R2	H30	R1	R2	H30	R1	R2
ふれあい・※1	465 (41)	391 (41)	150 (41)	138 (11)	123 (11)	35 (11)	11 (3)	9 (3)	0 (3)	220 (19)	203 (19)	94 (19)	96 (8)	56 (8)	21 (8)
いきいきサロン ふれあい・※2	46 (6)	40 (6)	1 (6)	12 (1)	10 (1)	0 (1)	—	—	—	24 (2)	21 (2)	1 (2)	10 (3)	9 (3)	0 (3)
子育てサロン ふれあい・※3	61 (6)	60 (6)	45 (6)	—	—	—	—	—	—	57 (5)	57 (5)	44 (5)	4 (1)	3 (1)	1 (1)
散歩クラブ ふれあい ※4	39 (4)	26 (4)	0 (4)	10 (1)	7 (1)	0 (1)	9 (1)	4 (1)	0 (1)	20 (2)	15 (2)	0 (2)	—	—	—
食事サービス															

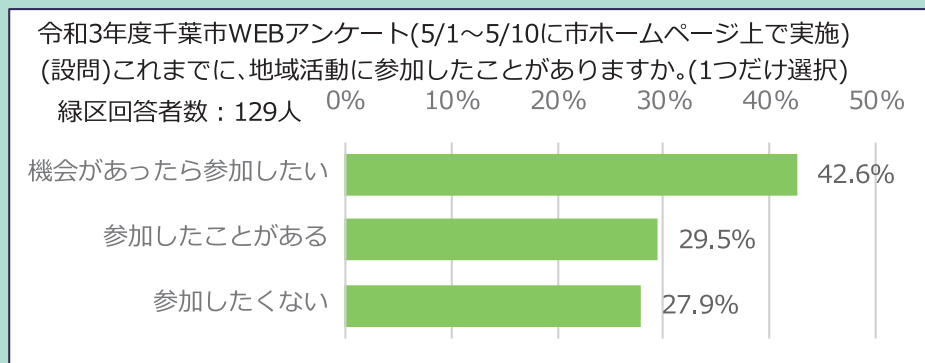
※1 公共の施設や町内自治会館等を会場に、語らいの場やレクリエーションの機会を提供し、介護予防・閉じこもりの防止・地域交流や仲間づくりを進める活動。

※2 公共の施設や町内自治会館等を会場に、子育て中の親子が気軽に参加し、自由に遊んだり、おしゃべりや、情報交換をして、子育てを楽しみながら仲間づくりを進める活動。

※3 地域の高齢者・障害者等の地域住民が散歩を中心とし、ふれあうことで自宅に閉じこもりの状況を防ぎ、心身の健康保持や介護予防・高齢者の仲間づくりを進める活動。

※4 ひとり暮らしの高齢者や高齢者世帯を対象に会食会や食事の配達を通じて、温かな食事、食生活改善と心のふれあいを目的に実施。

(4) 区民意識に関するデータ



福祉活動は住民の共助によって向上するものです。参加したいという住民の意識は高いものの、参加したくないが約30%あることは大きな課題です。今後進展する高齢化社会においては、共助の意識が大切になります。ボランティアによる地域活動の場をいかに高めるかが課題です。

※千葉市WEBアンケートは、毎月1日午前10時から10日午後5時まで、市ホームページをとおして、市内在住・在勤・在学の方を対象にアンケート調査を実施することにより、短期間で市民意見等を把握し、施策等の検討に役立てる制度です。

2 区の課題

① コミュニケーションの機会の増加について

各地域の状況に応じ、感染症予防に配慮した活動内容及び方法の検討。

② 災害等の緊急時の対応について

災害等の緊急時に備え、平時から各地域の状況に応じた各団体の連携体制の整備。

③ 地域活動や担い手について

高齢者を含む地域住民の地域活動への参加促進及び各団体の連携。

3 基本理念

「地域住民のきずなを深め、みんなが手を結び合い、
住みよいまちづくりを推進する」

～ 未来を築く子どもたちのために ～
～ 明るい社会を築いてきた高齢者のために ～
～ 障害者（児）が希望を持って地域に生き、働けるために ～

この基本理念は、緑区の目指すべき将来像で、第1期計画から引き継いでいます。
地域住民が「きずな」の大切さを再認識し、手を取り合って心の通うあたたかな
地域づくりを目指します。

4 3つの基本方針

基本理念を達成するため、第1期計画より継続してきた基本方針を踏襲しつつ、
各地域の状況や社会情勢等を踏まえて定めたものです。

《基本方針1》 コミュニケーション（学び・継承・交流・ふれあい・社会参加）

「向こう三軒両隣」・地域に暮らす全ての人が、つながりを大切にします。

《基本方針2》 緊急時の支援と対応（災害、防犯と防災、感染症）

「安心・安全・安住」安らぎの生活を・みんなで支援し、みんなで守ります。

《基本方針3》 身近な生活支援と連携（健康、見守り、介護・ボランティア）

「困ったときは、声かけて」・みんなで考え、みんなで解決します。

以上の方向性を基に、今後検討を重ね、「具体的な取組み」、「重点取組地区」については、
令和6年度の間見直しの段階で策定します！

その間は、第4期計画の取組みを参考に、工夫しながら、できることに取り組みます！

具体的な取組みの検討

● 中間見直し

R4年度

R5年度

R6～8年度

緑保健福祉センター高齡障害支援課



〒266-8275 千葉市緑区鎌取町226-1

TEL 043-292-8138 FAX 043-292-8276

電子メール koreishogai.MID@city.chiba.lg.jp

千葉市保健福祉局健康福祉部地域福祉課



〒260-8722 千葉市中央区千葉港1-1

TEL 043-245-5158 FAX 043-245-5620

電子メール chiiki.HWH@city.chiba.lg.jp



この事業には宝くじの収益金が活用されています。